



温度調整が難しい時期、調子いかがですか？

読んで気持ちがホットなる

マンスリー

ホット

情報

2021.6月号
NO.435

ゴールデンウィークに三男の進路が決まったことをきっかけに家中の要らないものを家族みんなで整理しました。本やCDは買取店に持っていき、要らなくなったモノは思い切って処理場へ。「断捨離」という言葉をよく耳にします。この意味は『不要な物を「断ち」「捨て」、物への執着から「離れる」ことにより、「もったいない」という固定観念に凝り固まってしまった心を開放し、身軽で快適な生活と人生を手に入れようとする思想』なんだそうです。模様替えも終わり、すっきりしたリビングでコーヒーを飲んだら、コロナへの鬱憤がだいぶ晴れました。 宮原 康行

八王子の素敵なお店をご紹介します

はちさんぽ 第105回



上海風 中華料理 **東華飯店** さん

八王子の中華の老舗、京八地区の顔

昭和39年創業、南多摩中等学校の向かいにある『東華飯店』さん。『八王子お店大賞』にも輝いた老舗中の老舗の中華屋さんです。二代目の顧興芳（こう しんほう）さんは都心の有名店で修行をして家業に入りました。「最初は店を継ぐのが嫌でねえ。就職しようと思って働き口を決めてきたら親父にえらい怒られたんだよ。（笑）」と茶目っ気タップリに話す顧さん。その印象は会う人みんなに好かれる和やかな人柄です。お料理はどれも顧さんみたいにやさしい味、食材の良さを上手に引き出してとてもおいしく仕上げられます。『お客さんのおいしそうに食べてくれる顔を見るのが一番の幸せ！このコロナ禍にあっても京八の周りの人々を料理で元気づけたいね！』と言う大将。ホールを一手に引き受ける、とても気さくな奥さんと二人三脚で、お客さんをいつも温かく迎えてくれます。お店の雰囲気とおいしい中華料理と、腹も心も満たされたランチで午後の仕事も頑張れそうです！



日替わりランチの
新鮮レバーと新玉ねぎ炒め



東華飯店麺 ¥850



大将の顧興芳さん。いつも笑顔でおいしい中華を提供し続けています。



店内は明るくて居心地がいいんです。知り合いとゆっくりランチも楽しんでください！



この時期冷やし中華も始まります。種類も豊富なので是非ご賞味ください！

お店詳細は裏面へ

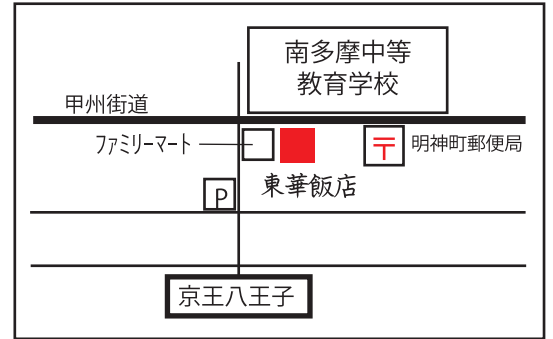


上海風 中華料理

東華飯店

八王子市明神町4-2-7
秀和第1八王子レジデンス
TEL：042-642-2020

11:00~15:00 17:00~22:00
月曜日 定休



facebook

情報掲載中！

わたしのイチオシ



最近ホームセンターに行く機会が多いのですが、ふと優れものに出会いました。

「鍋にかけられるお玉」おしゃれなお玉置きを買ってみても、置き場所に悩んだり洗い物が増えるだけでした。これを購入してから、持っている3本の出番がなくなりました。手持ちが短く見えますが、本来の使い勝手に変わりありません。

おすすめです！

鈴木 ゆみ子



ちょっとお耳を

タレントの関根麻里さんのエッセイ『上機嫌のワケ』に、父、関根勤さんの面白子育てエピソードが紹介されています。

まだ麻里さんが幼かった頃、関根勤さんはよく絵本を読んでくれたそうです。でも、そこはあの関根さん、普通には読みません。例えば桃太郎、『昔々、ある所におじいさんとおじいさんが住んでいました』などと終始ボケ倒し。当然麻里さんはボケごとにツッコミを入れていたそうです。麻里さん曰く『とにかく笑いが絶えない家庭でした。自然とボケとツッコミを覚えてユーモアのセンスが磨かれました。』とお父さんに感謝しています。この『ユーモアのセンス』って子供の頃に身に付けておかないと、誰かの冗談でみんなが笑っているときに『今の話って、どこが面白いの?』と真顔で聞くザンネンな大人になりかねません。子供が育つ過程で、ユーモアを解する大人が、1人でも近くにいるかどうかはとても重要なことだと思うのです。ちなみに関根勤さんは、麻里さんが理想の男性は高田純次さんと言ってるのを知ったとき『俺の教育は間違っていないかった!』と喜んだそうです。

あとがき

2021年も6月になり、早くも折り返しです。終着が見えないコロナ禍ですが、ワクチン接種もはじまり良い方向に向かっていると自分に言い聞かせ、日々がんばっています。

取材をさせていただいた東華飯店の奥さん。常連さんとお会計でのやり取りで、冗談を交えながら会話する様子がとても心地よく耳に入ってきます。「ああ、こう言うやりとりを久しく聞いてなかったなあ」と改めて感じました。普段の何気ない会話がいかに心を楽しませてくれるか。。。。やっぱり人と会って言葉を交わすことがとても大切なんだと、しみじみ感じたひと時でした。